



# 歴史的 プレゼン

When Shoguns Needed Slides:  
Presentation Basics  
and Tips

前田鎌利  
Maeda Kamari

CROSSMEDIA PUBLISHING

「歴史にもしもはありえないのですが、もしも歴史の転換点にプレゼンが使われていたら……。そんな本って作れませんか？」

（なにそれ！ 面白そう!!）

子どもの頃から歴史が好きで、学研の『まんが日本史』や『まんが人物日本史』など、暇があると読みふけていたのを覚えています。高校も日本史を選択して資料集を眺めているのが好きでした。大人になった今でも、当時の資料集が捨てられずに私の本棚に並んでいるくらいです。NHKの大河ドラマを欠かさず見たり、旅行に行けばその土地の史跡を巡ったりするのが趣味となっている私が本書を執筆している姿など、当たり前ですが子どもの頃には想像すらしていませんでした。

はじめまして。前田鎌利です。

私は、「ビジネス」と「教育」と「書」の3つの領域で活動をさせていただいております。

「ビジネス」では、年間で200社以上の企業や公共機関、団体、学校などでプレゼンテーションや会議術、リーダーシップ、マネジメントといったビジネス講演・研修や女性活躍推進事業を行っています。

「教育」では、情報経営イノベーション専門職大学の客員教授、サイバー大学の客員講師としてプレゼンテーションをお伝えしながら、全国高校生プレゼンテーション甲子園の共催、そして審査員長なども務めています。

最後に「書」ですが、5歳から書道塾に通い、大学は東京学芸大学の書道科へ進学して書道まみれの4年間を過ごし、卒業後は書家としても歩んできました。これまでに手がけた作品はAFCチャンピオンズリーグ「絶対突破」、JAXA「<sup>きこう</sup>こうのとりのとり」、国宝彦根城などを揮毫し、最近では『週刊少年ジャンプ』で連載されている『逃げ上手の若君』で書を提供しております。全国で700名を超える生徒が在籍する書道教室「<sup>つぐみ</sup>継未」の代表も務め、年に数回、海外で書のパフォーマンスや個展を開催しています。

長い……。長いですね……。

プレゼンはこの長々と書かれているものをいかに削ぎ落としてシンプルにするかの作業です。この自己紹介もプレゼンであれば、

「ビジネス」

「教育」

「書」

の3つしか表記しません。

限られた時間しかいただけませんから、「絞る」という作業を行います。「絞ってしまつては、伝わらないのでは？」と思われるでしょう。その通りです。書籍であれば文字情報しか使用できませんから、当然、文章を書いて伝えざるを得ないのですが、プレゼンテーションとなると異なります。むしろ文章では書かないのです。

**なぜなら、プレゼンテーションとは情報を提供するだけではなく、限られた時間で相手を行動変容させることがゴールだからです。**

**つまり、相手の感情を動かさなければ行動変容にはつながらないのです。**

仕事柄、私はさまざまな企業や学校などでたくさんのプレゼン資料に触れる機会があるのですが、いま見ていただいた私のプロフィールの紹介のように、とにかく伝えたいことを詰め込むだけ詰め込んでいる資料をよく見かけます。読むのが苦痛になったり、理解することで精一杯で、結局何が言いたいのかわからなかったりするスライドだらけです。

また、ここ数年で全国の小学校・中学校・高校や大学などからプレゼンの講義のご依頼を多々いただくようになってきました。受験においても指定校推薦や総合型選抜などでの進学が50%を超えようとしてきており、ビジネスシーンだけでなく、教育の分野でもプレゼンテーションをする機会が増加し、多くの人の前で伝えるスキルが求められていることをひしひしと実感するようになり

ました。

これまでもプレゼンや資料作成の書籍を執筆してまいりましたが、ビジネスパーソンはもちろん、大学や高校でも授業や受験で使われることが増大している背景から、ビジネス色の強いものではなく、もっとだれでも面白おかしく学べるような書籍が届けられないものかと考えていた矢先に、今回の出版のご依頼をいただくことになったのです。渡りに船とはこのこと！ お声がけいただき本当にありがとうございます。

そんな経緯で、歴史好きだった私が「**プレゼンテーション**」×「**歴史**」というスタイルでお届けすることになったのが本書『歴史的プレゼン』です。この本は歴史上の転換点や意思決定のプロセスをベースにして、「もしも……」という形で面白おかしく、少々（というか、かなり）史実をアレンジした設定でお届けするプレゼンスタイルになっております。さらに、それぞれのプレゼンでさまざまなテクニックを使い、相手をどのようにして動かしたのかを表現してみました。

それぞれの章の構成としては、

- ①プレゼンテーション
- ②スライドの解説
- ③プレゼンで使ったTips

という順番で展開していますので、どの時代でもあなたの興味がある歴史のパートから読み始めていただいて問題ありません！ 各章の終わりにはポイントをまとめていますので、時間がない方はそこからプレゼンを読み返していただいてもOK！ 楽しく読んで学んでいただけるかと思います。

この書籍は、

- ・プレゼンに慣れていない
- ・ビジネス的な堅苦しい書籍は読んでいてちょっと疲れてしまう
- ・歴史に興味がある
- ・プレゼンの楽しさを知りたい
- ・もっと相手に伝わるプレゼンを作りたい

という方におすすめの書籍です。

**読んでいだけで、さまざまなプレゼンのテクニックが身につく不思議な本です。**

そうそう、1点だけお願いがあります。**あくまで歴史をベースにしたプレゼンですが設定としてかなり史実とは異なっております。**さまざまなところでアレンジを加えておりますので、フィクションであることをあらかじめご了承ください（「これは史実と違ってます！」というご指摘はご容赦くださいませ♪）。

さて、歴史に名を刻んだ偉人たちはその時、何を考え、誰に向けて、どんな<sup>おも</sup>念いをプレゼンしたのでしょうか？

**もしも、あなたがその偉人だったら……。**

**そんなことを想像しながら読み進めてみてください。**

これからあなたに訪れる人生の転換点でこの『歴史的プレゼン』が一助となることを祈念しております。

前田鎌利



## 序章 薩長同盟「水と油を混ぜるぜよ!!」

|                                                  |    |
|--------------------------------------------------|----|
| ▶ もしも坂本龍馬が西郷隆盛と木戸孝允に、<br>パワポで薩長同盟のプレゼンをしたら ..... | 11 |
| ▶ 解説編 .....                                      | 24 |
| プレゼンで伝えるべき2つのこと .....                            | 31 |
| 伝わるためのメカニズム .....                                | 31 |
| 「理解」を「納得」に変える4原則 .....                           | 32 |
| ロジカルストーリーと感情デザイン .....                           | 34 |
| プレゼンのシナリオは8パターン .....                            | 36 |

## 第1章 推古天皇の「いいから結論から話せ！」

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ▶ もしも聖徳太子の十七条の憲法の提案にダメ出しが出たら ..... | 39 |
| ▶ 解説編 .....                        | 42 |
| ▶ テクニック編 .....                     |    |
| 1. 要点を押さえた「1枚サマリー」 .....           | 44 |
| 2. 選択肢を用意して、意思決定を促す .....          | 44 |
| 3. スライドサイズは「16:9」に .....           | 45 |
| 4. 企業文化に合わせたチューニング .....           | 46 |

## 第2章 聖武天皇の「みんな！ オラに力を！」

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| ▶ もしも聖武天皇が大仏建立のクラウドファンディングをしたら ..... | 49 |
| ▶ 解説編 .....                          | 56 |
| ▶ テクニック編 .....                       |    |
| 1. 信頼を勝ち取る3つの技法 .....                | 60 |
| 2. 「帯透過」で見やすくする .....                | 61 |
| 3. 視覚に訴える図解 8つの型 .....               | 61 |

## COLUMN① プレゼン資料のつくり方

1. いきなりパワーポイントを開いてはいけない ..... 65
2. シナリオシートをつくろう ..... 67
3. 7割くらいの完成度で上司に確認を ..... 68

## 第3章 北条政子の「新! いざ鎌倉」

- ▶ もしも北条政子が有名な演説「頼朝公のご恩は山よりも高く  
海よりも深い」を封印してプレゼンしたら ..... 69
- ▶ 解説編 ..... 76
- ▶ テクニック編
  - 1. 「めくり効果」でワクワク感を演出する ..... 80
  - 2. 「全画面」で心を揺さぶる ..... 81
  - 3. 「多画像効果」を活用して、印象に残す ..... 82

## 第4章 羽柴秀吉の準備万端!! 清洲会議プレゼン

- ▶ もしも羽柴秀吉が質疑応答の資料をバッチリ用意していたら ..... 85
- ▶ 解説編 ..... 90
- ▶ テクニック編
  - 1. アジェンダの準備が成功の鍵 ..... 92
  - 2. 差をつける補足資料の準備 ..... 93
  - 3. 相手のことを知る準備 ..... 94

## 第5章 暴れん坊将軍の「君の声が聞きたい」

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| ▶ もしも徳川吉宗が目安箱設置を広く庶民に訴えかけたら ..... | 97  |
| ▶ 解説編 .....                       | 104 |
| ▶ テクニック編                          |     |
| 1. マジックナンバー3の法則 .....             | 108 |
| 2. フォントとフォントサイズの選び方 .....         | 109 |
| 3. 自分ごとにさせる4つの「つかみ」 .....         | 110 |

## 第6章 白熱！ 開国を迫る 黒船ペリー vs 老中 阿部正弘のロジカルプレゼン術

|                                               |     |
|-----------------------------------------------|-----|
| ▶ もしも老中 阿部正弘の質問に対して、<br>ペリーが論理的にプレゼンしたら ..... | 115 |
| ▶ 解説編 .....                                   | 122 |
| ▶ テクニック編                                      |     |
| 1. データの見せ方 4つの型 .....                         | 124 |
| 2. 視線の基本は「Zの法則」 .....                         | 125 |
| 3. 左グラフ右メッセージ .....                           | 126 |
| 4. 質疑応答10のチェックリスト .....                       | 127 |

## COLUMN② 人生で一番行うプレゼンとは？

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1. 自己紹介も立派なプレゼン .....           | 133 |
| 2. 情報は自分でアップデートする .....         | 135 |
| 3. 多くの人の前で話す時に緊張する人へ .....      | 136 |
| 4. プレゼン前はポジティブイメージを持つ .....     | 136 |
| 5. プレゼン中は2つの克服方法を事前にやっておく ..... | 137 |



## 第7章 勝海舟の江戸無血開城 報告プレゼン

- ▶ もしもすでに調整が終わっていて勝海舟と西郷隆盛の会談が  
ただの報告プレゼンだったら ..... 139
- ▶ 解説編 ..... 144
- ▶ テクニック編
  - 1. 報告プレゼンにはネクストステップを ..... 146
  - 2. わかりやすい定型フォーマット ..... 146
  - 3. キーメッセージは「13文字の法則」 ..... 147
  - 4. メッセージにはメリハリを ..... 148
  - 5. やってはいけない3つのNGメッセージ ..... 148
  - 6. 補足するなら40文字程度に ..... 149
  - 7. 1スライドは105文字まで ..... 150
  - 8. 依頼プレゼンにはコミットメントのスライドを入れる ..... 151

## 第8章 あなたの藩が生まれ変わる!! 廃藩置県で将来安心プレゼン

- ▶ もしも大久保利通と木戸孝允が新事業 廃藩置県を  
わかりやすく伝えたら ..... 153
- ▶ 解説編 ..... 162
- ▶ テクニック編
  - 1. シグナル効果を活用する ..... 167
  - 2. 色使いはトンマナ重視 ..... 167
  - 3. 1スライドは3色まで ..... 168
  - 4. 暖色系と寒色系 ..... 168
  - 5. 「セブンヒッツ理論」で記憶に残す ..... 169
  - 6. アニメーションでインパクトを ..... 169

## 第9章 アメリカへ売り込め!! 渋沢栄一のインバウンドプレゼン

- ▶ もしも渋沢栄一が日本へのインバウンド訴求プレゼンをしたら ..... 173
- ▶ 解説編 ..... 184
- ▶ テクニック編
  - 1. 「公式法」で、すぐわかる ..... 190
  - 2. 「比喻法」で、よくわかる ..... 190
  - 3. 営業プレゼンではコンサルプレゼンがおすすめ ..... 191
  - 4. 大人数に話す時には ..... 192
  - 5. フィラーをなくして、プレゼンに切れ味を ..... 193

## 第10章 これからの時代を切り開く!! 日英同盟のAIプレゼン

- ▶ もしも小村寿太郎が伊藤博文に日英同盟の  
説得をするプレゼンでAIを活用したら ..... 195
- ▶ 解説編 ..... 200
- ▶ テクニック編
  - 1. ChatGPTを活用して、資料作成を効率化 ..... 202
  - 2. AIによるプレゼン作成の未来像 ..... 203

## おわりに

205

カバーデザイン 金澤浩二  
カバーイラスト ホセ・フランキー  
スライドデザイン 堀口友恵